

やめてんか!

こんな

『非常識』

松井市長は昨年11月の「住民投票」直後に、その結果を踏みにじる「府市一体化条例」を言い出しました。市民にまともな説明もなく3月26日の大阪市会で採決を強行し、4月から実施するというあまりの「非常識」を許してはなりません。

非常識 その1 市長・知事は そもそも対等です!

松井市長が議決をめざす「府市一体化条例案」に公明党が「市長と知事が対等」になるよう「修正」を求めています。そもそも市長と知事は対等平等です。わざわざ「上下関係」にする「条例」を作らなければいいだけです。

公明党さん、民意を受け止めるなら
「条例」に反対しましょう!

『住民投票』で示された大阪市を存続させるという
民意を厳粛に受け止めている

(西徳人公明党市議・3月4日市会代表質問)

非常識 その2 大阪だけが地方分権に逆行

「条例案」は大阪市の重要な権限（街づくり・大型開発事業の決定）を大阪府に差し出します。しかし、国の地方制度調査会の「報告」では、大阪府と大阪市の事務が二重だったら、府の仕事を大阪市に任せなさいと言っています。維新のやり方は地方分権に逆らう非常識です。

非常識 その3 「住民投票」の民意を“ちゃぶ台返し”

維新は「住民投票」や選挙を「究極の民主主義」と言っていたのに、「都構想」が否決されたら“ちゃぶ台返し”です。

今度は自分の言い分を議会の多数に頼んで押し通し、4月に実施とは…。こんな非常識を許してはなりません。

松井市長は
「住民投票」の
結果を守って!



カギを握る公明党関係者のつぶやき

「衆院の議席にこだわり続ける限り、維新の言いなりにならざるを得ない。自民が怒るのも当然だ」
(公明党関係者・毎日新聞3月5日付)

